

# 2023年度 一般入学試験 前期日程 (2月1日)

## 国

## 語

(試験時間 60分)

### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、28ページあります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。





第1問 次の文章はある評論文の「はじめに」として書かれたものである。これを読んで、後の問い（問1～12）に答えなさい。

① では、今なぜ現代思想（現）を学ぶのか。

② どんなメリットがあるのか？

③ 現代思想を学ぶと、複雑なことを単純化しないで考えられるようになります。単純化できない現実の難しさを、以前より「高い解像度」で捉えられるようになるでしょう。

④ ——と言うと、「いや、複雑なことを単純化できるのが知性なんじゃないのか？」とツツコミが入るかもしれません。【a】それに対しては、「世の中には、単純化したら台無しになってしまいうりアリティアがあり、それを尊重する必要がある」という価値観あるいは倫理を、まず提示しておきたいと思います。そう聞いて、「ふむふむ、そうだよな」と思ってくださいるならいいですが、「なんじゃそれは」とイラつく人もいるかもしれない。ともかく読み進めてみて、役に立つものかどうかご判断いただければ幸いです。

⑤ もう少し、この冒頭で、今なぜ現代思想なのかを説明させてください。

⑥ <sup>(A)</sup>大きく言イって、現代では「きちんとする」方向へいろいろな改革が進んでいます。これは僕の意見ですが、それによって生活がよりキウクツイになっていると感じます。

⑦ きちんとする、ちゃんとしなければならぬ。すなわち、秩序化です。

⑧ 秩序から外れるもの、だらしのないもの、逸脱を取り締まって、ルール通りにキレイに社会が動くようにしたい。企業では「コンプライアンス」を意識するようになりました。【b】、我々は個人の生活においても、広い意味でコンプライアンス的な意識を持つようになったというか、何かと文句を言われないようにビクビクする生き方になってきていないでしょうか。今よりも

「雑」だった時代のシユウカンを切り捨てる必要がある面もあるでしょう。しかし改革の刃は、自分たちを傷つけることにもなっていないでしょうか。

9 こうした現代の捉え方を、ここではごく大きっぱに言うだけにします。じゃあ具体的にどういう問題があるかと例を挙げると、その例だけに注目して拒絶され——「それをきちんとするべきなのは当然だ」と問答無用の反発を受けて——、話を聞いてもらえないかもしれないからです。

10 ですから時代の大きな傾向として言います。現代は、いつそうの秩序化、クリーン化に向かっていて、そのときに、必ずしもルールに収まらないケース、ルールの境界線が問題となるような難しいケースが無視されることがしばしばである、と僕は考えています。何か問題が起きたときに再発防止策を立てるような場合、その問題の例外性や複雑さは無視され、一律に規制を増やす方向に行くのが常です。それが単純化なのです。<sup>(B)</sup>世界の細かな凹凸が、ブルドーザーで均なされてしまうのです。

11 物事をちゃんという「良かれ」の意志は、個別具体的なものから目を逸そらす方向に動いてはいないでしょうか。<sup>(C)</sup>そこで、現代思想なのです。

13 現代思想は、秩序を強化する動きへの警戒心を持ち、秩序からズレるもの、すなわち「差異」に注目する。それが今、人生の多様性を守るために必要だと思おうのです。

14 人間は歴史的に、社会および自分自身を秩序化し、ノイズを排除して、純粋で正しいものを目指していくという道を歩んできました。そのなかで、二〇世紀の思想の特徴は、排除される余計なものをクウリエイティブなものとして肯定したことです。

15 遡ると、その原点は一九世紀のニーチェ(註)の哲学にあります。ニーチェは『悲劇の誕生』において、『ディオニユソス(註)的なもの』  
という言い方で、荒ぶる逸脱のエネルギーをクリエイティブなものとして肯定しました。

16 逸脱にクリエイティブなものが宿るといふ考え方は、二〇世紀を通してポピュラーになりました。芸術家にはハチャメチャなところがある、みたいなイメージですね（それも「昭和的」になり、今では品行方正な人が好まれるのかもしれませんが）。

17 予定を超えて朝まで飲んでしまおうとか、突然「今から海に行くか」となってレンタカーでドライブに出かけてしまおうとか、そ

のくらいなら日常起こりうる軽い逸脱で、青春映画みたいな爽やかさです。「勢い」ですね。その一方で、最も極端には、犯罪という逸脱がある。では、激しい社会運動で、法的にギリギリであるような行動などはどうなのか。法の隙をつく狡猾こつこつなビジネスはどうか。逸脱には実にさまざまな様態があります。考えてみてほしいのですが、ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害は法によって遂行されたのであり、抵抗するには違法行為＝逸脱が必要だったのです。

18 そもそも、ルールに則のっとっている状態とはどういうことなのか。法的にセーフかアウトかというのは解釈が必要で、だから法曹の仕事があるのであって、ボタンを押したら答えが出るものではありません。ここには、ソール・クリプキというアメリカの哲学者が考えた「規則のパラドックス」という有名な問題が潜んでいます。

19 僕は一九七八年生まれで、九〇年代から二〇〇〇年代にかけて精神形成をした人間なので、二〇世紀的なものをずっと背負っているのですが、デジタルネイティブの世代からすると、逸脱をポジティブに考えるというのは違和感があるかもしれません。  
20 有名な「盗んだバイクで走り出す」という歌詞がありますが、あれはかつて、がんじがらめがらの社会秩序の「外」に出ていくという解放的なイメージで捉えられていました。ところが今日では、「他人に迷惑をかけるなんてありえない」という捉え方がけつこう本気で言われているようです。そういう解釈は当初は冗談だったのですが。

21 今日では、秩序維持、安心・安全の確保が主な関心になっていて、以前のように「外」に向かっていく運動がそう単純には言こと祝はがれなくなっています。

工 22 そういう状況に対して僕は、さまざまな管理を強化していくことで、誰も傷つかず、安心・安全に暮らせるというのが本当にユートピアなのかという疑いを持ってもらいたいと思っています。というのも、それは戦時中のファシズムに似ているからです。

23 僕は祖父父母が戦争を経験しているので、皆がイチガンいっかんとなってひとつの方向を向くことへの警戒心をギリギリ教えられてきた世代です。そういう昭和の記憶があるからこそ、一人の人間が逃げ延びられる可能性が倫理的につねに擁護されるべきだと考えるのです。犯罪のヨクシよくしは必要だとしても、過剰な管理社会が広がることへの警戒は言わねばならないし、現代思想はまさにその点に関わっており、人が自由に生きることの困難について語っている思想だと思っております。

24 秩序をつくる思想はそれが必要で、しかし他方で、秩序から逃れる思想も必要だというダブルシステムで考えてもらいたいのです。

25 たとえば机の上がめちゃくちゃだったら気分が悪いわけで、整理整頓したい。ところが、知人のアーティストから聞いた話ですが、机の上がキッチリ整理整頓されすぎていると、絵が「硬く」なってしまう。なので、むしろいいカゲン(ホ)にしているのだと。この感覚は僕にもわかります。人間が人工的につくり出す秩序ではない、何かもつと有機的なノイズみたいなものがないと、思考が硬化化してしまいます。

26 僕は机の上に植物を置いています。植物は自然の秩序ですが、同時に、人間の言語的な秩序からは逃れる外部を示している。植物は思い通りに管理できません。勝手な方向に延び、増殖もする。そういう「他者」としての植物にときどき目をやると、物事を言葉でがんじ堀めにしようとしてしまう傾向に風穴を空けるような効果があります。

27 動物を飼うのもそうですね。他者が自分の管理欲望を攪乱かくらんすることに、むしろ人は安らぎを見出すい。ここが逆説的なのです。すべてを管理しようとすればするほど、わずかな逸脱可能性が気になって不安に駆られるのです。むしろ秩序の攪乱を拒否しないことで不安は鎮まっていく。だから人は恋愛をしたり、結婚したりもするのです。それは秩序をつくるためというより、攪乱要因とともに生きていくことが必要だからでしょう。

(千葉雅也の文章による。ただし、一部変更した。)

(注)

1 現代思想：一般には広く「現代の思想」全般を指すが、ここでは一九六〇年代から一九九〇年代までを中心に、主にフランスで展開された「ポスト構造主義」と呼ばれる哲学を指している。ポスト構造主義の思想が、日本では「現代思想」と幅広く呼ばれてきたことも踏まえた筆者の用法。

2 ニーチェ：フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ（一八四四—一九〇〇）。ドイツ語圏の哲学者。

3 デイオニソスの：陶酔的、激情的。古代ギリシアにおける酒の神であるデイオニソスにちなむ表現。

4 デジタル・ネイティブ：生まれた時からインターネットの接続環境やデジタル機器が身近にあって、それらを当たり前

に活用していること。また、その世代。

5 有名な「盗んだバイクで走り出す」という歌詞 … シンガーソングライターの尾崎豊（一九六五―一九九二）が一九八三年に発表した「15の夜」の歌詞の一部。管理社会からの逸脱や脱出を象徴的に言い表したフレーズとして有名になった。

6 言祝がなくなっています … 祝福の言葉を受けなくなっています。「言祝ぐ」は「喜びや祝いの言葉を言う、言葉で祝賀する」という意味。



問1 空欄〔 a 〕・〔 b 〕に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号は

1

2

a

1

① 当然

② 加えて

③ それなのに

④ つまり

⑤ ですが

b

2

① なぜなら

② 反面

③ のみならず

④ ところが

⑤にもかかわらず

問2 破線部ア「リアリティ」・イ「コンプライアンス」・ウ「クリエイティブ」・エ「ユートピア」の本文中の意味として最も

適切なものを、次の①～④の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は

3

6

ア 「リアリティ」

- ④ 複雑性  
③ 偶然性  
② 現実性  
① 正統性

イ 「コンプライアンス」

- ④ 情報漏洩えい  
③ 法令遵守  
② 炎上対策  
① 内部統制

ウ 「クリエイティブ」

- ④ 魅力的  
③ 反抗的  
② 革命的  
① 創造的

エ 「ユートピア」

- ④ 理想郷  
③ 最適解  
② 幸福  
① 進化

問3

波線部(A)「大きく言つて、現代では『きちんとする』方向へといろんな改革が進んでいます」とあるが、「現代」における「改革」に対する筆者の意見はどのようなものであるか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、

記号で答えなさい。解答番号は

7。

- ① 秩序から外れる行為をさらに排除して、清潔できちんとした社会を実現することが望ましい。
- ② 秩序正しく清潔な社会の実現が近づき、人々は多少の苦しさも受け入れるようになった。
- ③ 過去の時代の限界を乗り越えて、現代にふさわしい社会を作り出そうとしている。
- ④ 秩序正しく動く社会を作ろうとしているが、生活面での萎縮が生じてしまった。
- ⑤ 逸脱を取り締まる改革に対して、企業や個人が逆らえず苦しんでいる状態になっている。

問4

波線部(B)「世界の細かな凹凸が、ブルドーザーで均されてしまうのです」とあるが、筆者がこのような言い方を採用したのはなぜだと考えられるか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

号は

8

- ① 現実それぞれに備わる複雑性を単純化して考えているから。
- ② 多様な現実が機械文明によって暴力的に破壊されているから。
- ③ 今の法秩序では判断が難しい事例を、強引に解決しようとするから。
- ④ 問題の個別具体性を踏まえた、有効性のある規制をしていないから。
- ⑤ ルールの限界を認めつつ、絶対的な秩序の構築を目指しているから。

問5

波線部C)「そこで、現代思想なのです」とあるが、このように「現代思想」を提案する背景となった、ここまでの筆者の現実認識を簡潔にまとめた説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

9。

- ① 管理を強化したはずが、深刻な違反や逸脱が絶えず起こるようになった。
- ② 秩序の範囲内か範囲外かを、すべてのものが厳しく判定されるようになった。
- ③ 秩序に基づく快適さを目指したが、実際は不便な世の中になってしまった。
- ④ 社会が秩序について追求するあまり、現実判断を単純化させてしまった。
- ⑤ 秩序を強化する動きのなかで、現実の豊かさに目を閉ざすようになった。

問 6 第⑬～⑰段落では、現代思想の特徴としてどのようなことがら指摘されているか。その説明として適切ではないものを、

次の①～⑦の中から二つ選び、記号で答えなさい。解答番号は

10

11

- ① 現代思想は秩序の問題を考察するが、それは人生の問題にも波及する論点である。
- ② 人間が自己や社会を秩序に基づいて組織しようとする傾向が、人類史にはある。
- ③ 秩序からの逸脱やそこから排除されたものを、二〇世紀思想は肯定的に見ている。
- ④ ニーチェによるディオニュソスの批判が、現代思想の原点となっている。
- ⑤ 逸脱には誰もが肯定するような爽やかなものもあるが、当然許されないものもある。
- ⑥ 逸脱の形態の中には、適法や違法という分け方では判断が難しいようなものがある。
- ⑦ 秩序からの逸脱を、「差異」として取り出して注目する点に現代思想の重要性がある。

問7 筆者の議論の進め方において、第18段落はどのような役割を果たしているか。その説明として最も適切なものを、次の

①～⑥の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

12。

- ① ルールに則っているかどうかの判断には法曹の存在が必要だと指摘して、第13段落の指摘に制限を加えている。
- ② ルールにかなった状態を規定するのは個人の解釈行為だと指摘して、第14段落の人間の傾向性を批判している。
- ③ 規則というものを突き詰めるとパラドックスが出てくると指摘して、第15段落のニーチェの説を再確認している。
- ④ 法的にセーフかアウトかの判断に個人の解釈が入り込む恐れを指摘して、第16段落の見解に制約を加えている。
- ⑤ ルールに則っているという事態そのものが自明ではないと指摘して、第17段落の論点を補強している。
- ⑥ ある行為が適法か違法かに関する一律の解釈は不可能だと指摘して、第18段落以降の展開を予告している。

問 8

波線部D)「そういう昭和の記憶があるからこそ、一人の人間が逃げ延びられる可能性が倫理的につねに擁護されるべきだと考えるのです」とあるが、筆者がこのように主張するのはなぜか。現代、過去、そして思想の關係に留意しながら、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

13。

- ① ファシズムの歴史的文脈を踏まえれば、管理強化による安心・安全の追求という方向性への疑念を持つことは重要である。その時、秩序の外へと人が出ていく可能性も、認められるべき選択肢として同時に保持されねばならないと考えるから。
- ② 皆がそろってひとつの方向性に突き進んだ過去の記憶は、秩序の外へ個人が脱出しうる可能性の大切さについて問題提起している。その視点を継承した現代思想を活用することで、過剰化する管理社会に歯止めをかけられるはずと考えるから。
- ③ 逸脱行為を解放として捉えた過去とは違い、現代社会は逸脱を管理対象とみることによって安心を確保しようとする。だが、昭和のファシズムの時代を思い起こすなら、その方向性は人が自由に生きる可能性の侵害につながりかねないと考ええるから。
- ④ 皆がそろってひとつの方向を向いた昭和から平成にかけての時代と似た危険性が、安心・安全を掲げる現代の管理強化には存在する。個人が秩序から逃走する権利を絶対視することは、社会が再びファシズムに陥らないために大切だと考えるから。
- ⑤ 人々が管理を容認し、個人が自由に生きる権利を失いつつある現代は、皆がそろってひとつの方向を向いたファシズムの時代と通じる点がある。だからこそ今、人々が秩序の外部に脱出できる権利は強く擁護されねばならないと考えるから。



問9 第25～27段落における筆者の主張を端的にまとめるとどのようなようになるか。その説明として最も適切なものを、次の①～

⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

14。

- ① 秩序正しさや管理を意図的に強化すると、かえって創造的な思考に変化が生じる。
- ② 思い通りにならない他者の存在は、自己の管理欲望を見直す上で重要である。
- ③ 自然界の秩序を受け入れることで、人工的秩序を内省的に見詰めたおすことになる。
- ④ 他者との偶然性に満ちた関係を人が求めるのは、不安を鎮めるためでもある。
- ⑤ 秩序に対して逸脱的な要素が、時に人生においては必要となることがある。

問10

筆者は冒頭で「今なぜ現代思想を学ぶのか」という問いを立てている。この問いについて、筆者は本文全体を通じてどのように応答しているかとみることが出来るか。その説明として適切なものを、次の①～⑤の中から二つ選び、記号で答えなさい。解答番号は

15

16

- ① 二〇世紀の思想は秩序から逸脱するエネルギーを肯定的に理解する方向で展開してきたが、物事を複雑性や多様性から見ようとせず、排除と管理に基づき秩序通りに動く社会を目指す動きが現在では過剰に進んでいる。個人の逸脱可能性を擁護する現代思想は、こうした現実に一石を投じるものとして意義があるといえる。
- ② 現在は、清潔で秩序正しい社会を目指して管理を強化する動きが進んでいるが、これがファシズムのような動きに陥る危険性も考えられる。よって、秩序を強化する思想よりも、複雑なものを単純化することなく捉えようとし、秩序から逃れる逸脱を前向きに肯定してきた現代思想の考え方を見直して、社会的に復権していくことが望ましい。
- ③ 現代思想を学ぶと、複雑なことを複雑なまま考えられるという利点がある。現代社会は、秩序や管理の強化を徹底するあまり物事の個別具体性を考察する視点を失い、人々が情緒的に一体化したファシズムの時代と通じる要素さえ持っている。秩序からの逸脱の中に含まれる多様な現実に着目した現代思想の視点は、この状態への有力な解決策となる。
- ④ 現代思想を学ぶと、現実の複雑性を高い正確性で捉えられるようになる。秩序化に基づく現在の改革には、問題となった事柄の排除に集中する一方で、物事それぞれに内在する具体性を無視しているという大きな欠点がある。したがって、逸脱を肯定する長い伝統を持ち、管理偏重への警戒を説く現代思想の意義は、今まで以上に増しているといえる。
- ⑤ 現在では、秩序正しい社会を目指して逸脱を排除する中で人々が自分自身も管理の対象とし、物事の複雑性や個別性が無視される状況がある。現代思想は管理を批判し、秩序からの逸脱を肯定してきた思想であり、人々が一致して管理強化に突き進む危険性を考えた時に、秩序をつくる思想と並び立つような思考のよりどころとして求められている。

問11 二重傍線部(イ)～(ホ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解

答番号は

17

21

(イ) キュウクツ

17

- ① 遭難者のキュウジヨを行う
- ② 生活がコンキユウする
- ③ フキユウの名作となった映画
- ④ 会議がフンキユウする
- ⑤ コウキユウ的な緩和措置

(ロ) シュウカン

18

- ① シュウチ心を感じる
- ② アイシュウを帯びた歌詞
- ③ レンシュウに打ち込む
- ④ シュウトウな準備を行う
- ⑤ カクシュウ連載の記事

(ハ) イチガン

19

- ① ホウガン投げで新記録を出す
- ② ガンキョウに抵抗する
- ③ 政策のシュガンを財政再建に置く
- ④ ハガン一笑の表情を見せる
- ⑤ 橋を渡ってタイガンに行く

(ニ) ヨクシ

20

- ① 農業に適したヒヨクな土地
- ② 試合がヨクジツに延期される
- ③ カイスイヨクの季節になる
- ④ ヨクアツから解放される
- ⑤ ショウシンヨクヨクとした振る舞い

(ホ) カゲン

21

- ① 利益を消費者にカンゲンする
- ② ゲンソウ的な風景が広がる
- ③ サゲンの側から船に乗り込む
- ④ 子供がキゲンを損ねる
- ⑤ 余剰人員をサクゲンする

問12

本文では「戦時中」に言及されているが、その戦時中である一九四三年に「時局をわきまえない」という理由で連載を中止された『細雪』を執筆した小説家として最も適切なものを、次の①～⑥の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 22。

- ① 堀辰雄
- ② 横光利一
- ③ 永井荷風
- ④ 谷崎潤一郎
- ⑤ 小林多喜二
- ⑥ 佐藤春夫

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えなさい。

コロナ禍で在宅の時間が長くなる中、家事の分担を巡っていさかいが起きた家庭も多いのではないかと、国立情報学研究所助教授の五十嵐歩美さんは、そんな悩みを解決するアルゴリズム（計算手順）の開発に取り組んでいる。

既存の家事分担アプリは、作業の数を公平に分ける手法が多い。検討するのは、掃除や料理などの得手不得手まで考慮し、不満を生まないように配分する仕組みだ。

簡単に切り分けられない資源を、どうすれば公平に配分できるか。数学で「公平分割問題」と呼ばれるテーマである。ケーキのカットや財産分与など、分析の対象は多岐にわたる。大風呂敷を広げれば、富の再配分に応用して格差社会の解消につながることも一案だ。

消費から軍事行動まで、人間の意思決定における人工知能（AI）の存在感は高まる一方だ。ただ、そのもとになるアルゴリズムに対しては、判断の過程が不透明で、結論に偏りがあってもわかりにくいといった疑念が根強い。公正で透明性の高い「信頼できるAI」の開発は課題だ。

公平性や公正さの考え方はさまざまだ。誰もが納得できる解を導くのは容易ではあるまい。家事分担のアプリが完成したとしても、改善を重ねる作業が続きそうだ。

五十嵐さんは「好きな数学で社会に役立ちたい」と考え、研究者を志したという。資源配分の研究が注目され、米科学技術誌から昨年、革新的な日本の若手15人に選ばれた。身の回りからデジタル社会を住みよくする試みを注視したい。

『毎日新聞』二〇二二年二月二八日「余録」による

問 1 破線部ア「いさかい」と近い意味の語句として適切ではないものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。

解答番号は

23

- ① 悶着<sup>もん</sup>
- ② 喧嘩<sup>けんか</sup>
- ③ 舌戦
- ④ 衝突
- ⑤ 異聞

問2

波線部(A)「検討するのは、掃除や料理などの得手不得手まで考慮し、不満を生まないように配分する仕組みだ」とあるが、このようなアルゴリズムの開発に取り組む理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。

解答番号は

24

- ① コロナ禍によって在宅の時間が長くなったことで、家族それぞれの家事の得手不得手がはっきりしてきたから。
- ② 家事分担をめぐりいさかいをきっかけとして増加した、家庭内暴力の発生を食い止めたいと考えたから。
- ③ 担当する作業の数だけで公平性を判断する既存のアプリでは、利用者にとって納得できる公平感が得られないから。
- ④ 五十嵐さんのような情報学の専門家にとっては、「公平分割問題」と呼ばれるテーマが数学的に重要な問題だから。
- ⑤ この種のアルゴリズムの開発を富の再配分に応用して、格差社会の解消につなげたいというねらいがあるから。



問3 破線部イ「大風呂敷を広げれば」と近い意味の語句として適切ではないものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 25。

- ① 大げさに言えば
- ② 話を膨らませれば
- ③ 誇張して述べれば
- ④ 大仰に言えば
- ⑤ 大局的に見れば

問  
4

空欄

X

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

26

。

- ① 不急の
- ② 喫緊の
- ③ 二義的な
- ④ 最善の
- ⑤ 些末な

問5

本文の主旨として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

27。

- ① 在宅勤務の長時間化などといった、コロナ禍によって起きた生活様式の変化に対応するためには、従来より高度なアルゴリズムの活用が不可欠である。
- ② 机上の理論とは異なり、利害の調整と社会的合意が求められる現実社会の課題においては、誰もが納得できる解を導き出すことは断念せねばならない。
- ③ 人工知能のアルゴリズムは判断の過程が不透明で結論に偏りがあるため、公正で透明性の高い「信頼できるAI」を開発することが求められている。
- ④ 意思決定におけるAIの存在感が高まる今、デジタルな技術を公正で透明性の高いものにすることを目指す研究が注目されている。
- ⑤ これからの若手研究者に求められるのは、単なる知的探究心にとどまらない「どうすれば社会に役立つのか」という視点である。

問 6 二重傍線部(イ)～(ホ)の品詞名を、後の①～⑧の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は  ～ 。

(イ) 多いのではないか

(ロ) 財産分与など

(ハ) 高まる一方だ

(ニ) そのもとになる

(ホ) 容易ではあるまい

① 名詞

② 動詞

③ 形容詞

④ 連体詞

⑤ 副詞

⑥ 接続詞

⑦ 助詞

⑧ 助動詞